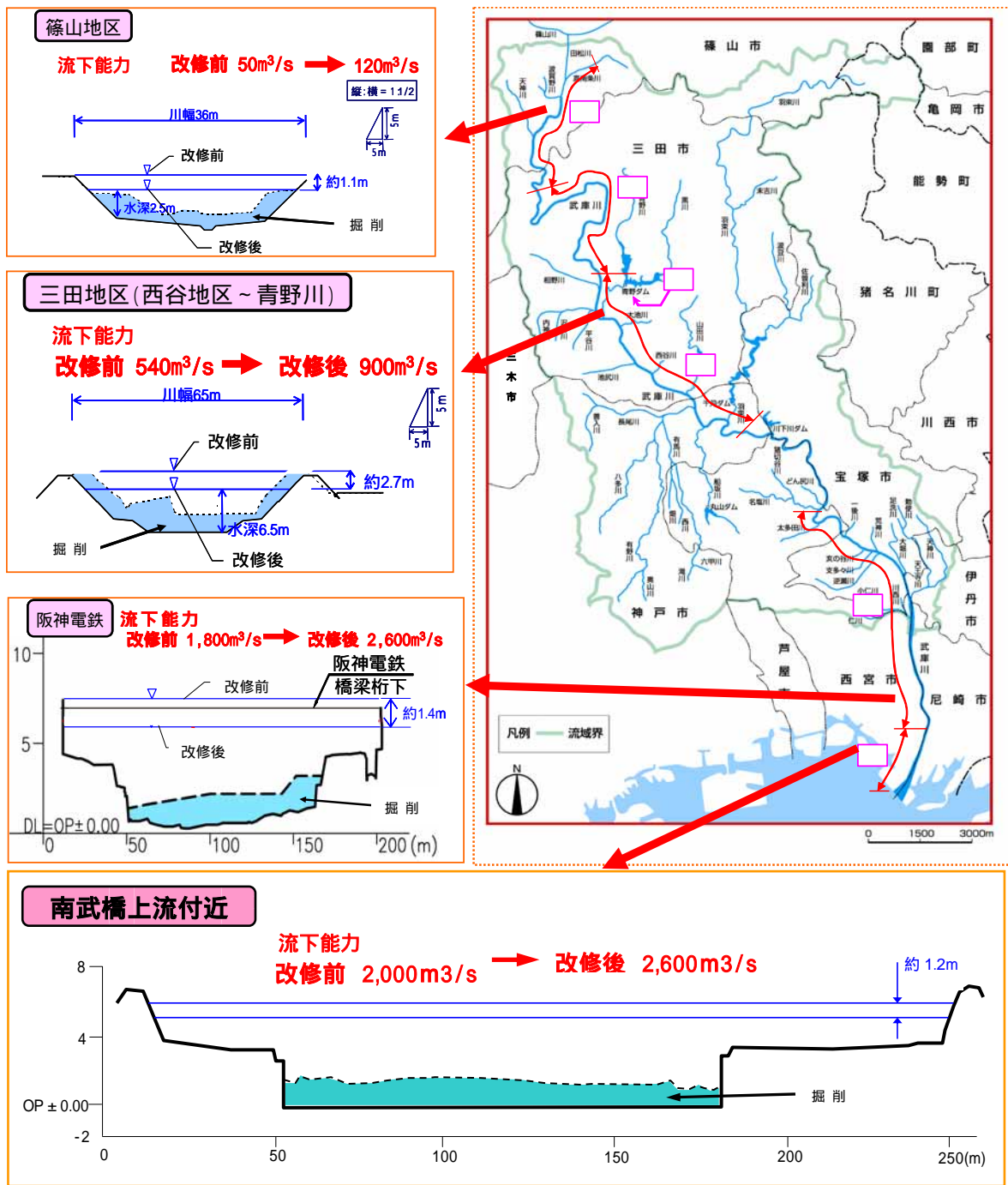


Q4 これまで取り組んできた河川改修の実績とその効果は？

A4 武庫川では、河口から上流まで、表1のような河川改修事業を実施し、昭和63年には青野ダム（写真1）を供用開始しています。

これら事業により流下能力の大幅な改善が図られ（図1）、青野ダムによる洪水調節効果（図2）もあって、平成16年台風23号による洪水でも整備済区間では大きな被害はありませんでした。



河床掘削前後の水位低減効果量(平成16年台風23号洪水時)

図1 近年の河川改修の状況

表 1 河川改修事業等の経緯

番号	区間	事業名	事業実施期間											
			S40	S45	S50	S55	S60	H1	H5	H10	H15	H20		
	河口～潮止堰	高潮対策事業	S37～H12											
	潮止堰～名塩川合流点	広域基幹河川改修事業 (旧事業名：中小河川改修事業)										S62～現在		
	大岩橋下流～太田橋	中小河川改修事業										S45～H12		
	太田橋～大安橋	小規模河川改修事業 災害復旧助成事業 等										S35～S63		
	大安橋～願勝寺橋	広域基幹河川改修事業 (上流武庫川工区)										S46～現在		
	三田市加茂	武庫川総合開発事業青野ダム										S48～S63		



写真 1 青野ダム

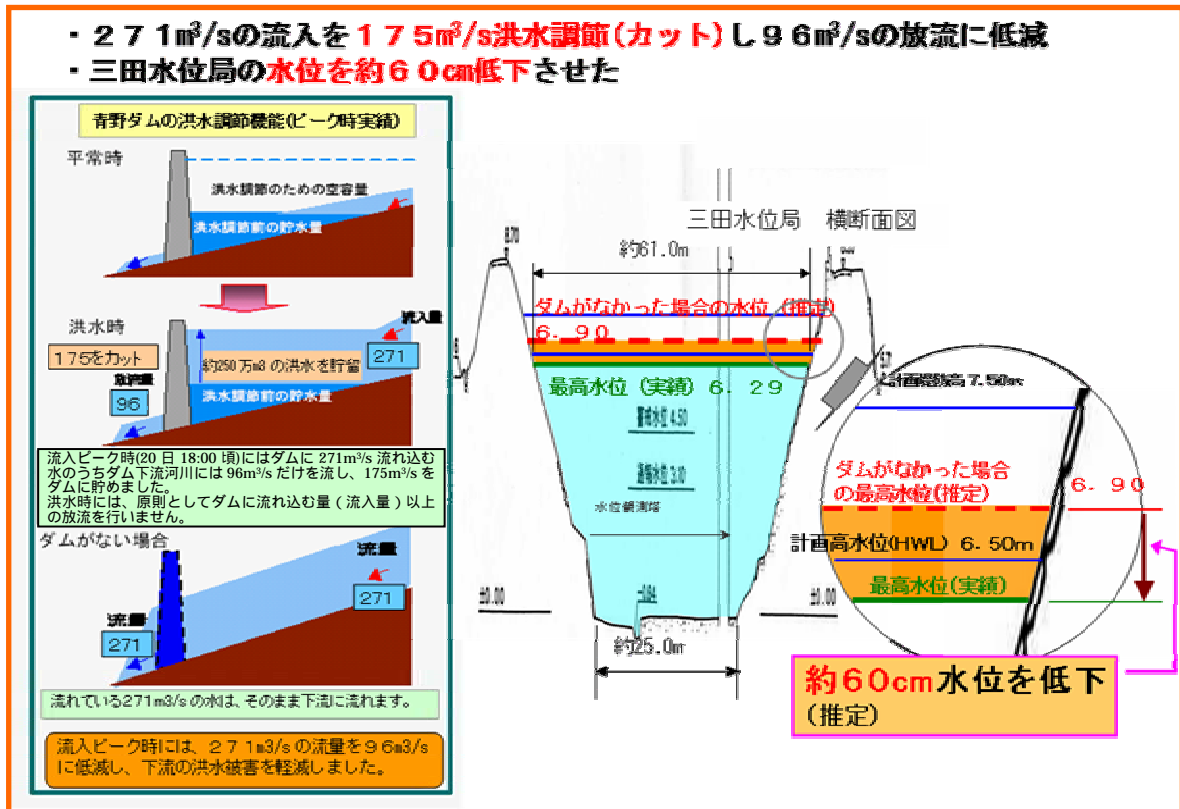


図 2 青野ダムの洪水調節と下流河川の水位(平成16年台風23号)